

## 研究背景

### 現状と問題点

製品の機能性確立



人の感性を考慮  
した製品作り

心理音響評価尺度  
重回帰分析

限定的な把握



↑↓  
概括的な把握が困難

### 本研究の目的

爽快感に注目 感性を概括的に把握

爽快感を高める音質設計の手法確立

↓  
食事空間の構築

## 研究内容

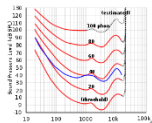
### 爽快感のある音の特徴把握

「爽快感」  
人のイメージ



物理指標

- ・時間特性
- ・周波数特性
- ・聴感特性
- Etc...



### 食事空間の構築

食事空間から出る音のメカニズム把握



音質設計実施



付加価値の向上